

公益財団法人 四万十川財団

TEL 0880-29-0200

FAX 0880-29-0201

Mail office@shimanto.or.jp

URL http://www.shimanto.or.jp



↑大野見で飼育されている七面鳥

■アスリートターキー(メス)



■しまんとターキー(オス)



↑ロゴマーク

## ■Thanksgiving Day

11月の第4木曜日に行われる感謝祭(Thanksgiving Day)という行事をご存知でしょうか。日本ではあまりなじみのない行事ですが、アメリカでは400年以上続く歴史ある行事です。感謝祭では家族や友人など大勢で食事をするのが習慣ですが、その時よく食べられるのが七面鳥。日本ではあまり食べる機会がありませんが、アメリカでは感謝祭の他にクリスマスにもよく食べられています。たしかに七面鳥の丸焼きがテーブルに置かれているのはおなじみの映像ですよ。とはいえ、日本にはあまり馴染みがなく、全国でも3カ所しか生産されていないそうですが、そのうちの1ヶ所がなんと四万十川流域にあります。

## ■大野見七面鳥生産組合

中土佐町大野見は人口約1200人のいわゆる中山間地域で、四万十川の上流域にあたります。大野見で七面鳥が生産され始めたのは約50年

前、現四万十町の興津から大野見に七面鳥を持ち帰ったことが始まりだとされていますが、なぜ興津にいたのかはわかっていません。昭和60年頃には10軒以上の生産者がおり、大野見七面鳥生産組合は昭和62年7月に加工・販売の共同化を目指して6軒の生産者によって発足しました。現在組合員は4名で、3軒の生産者が年間600羽ほどを生産しています。うち1軒が今回お話を伺った松下昇平さんで、主に営業活動を行っており、他2軒が主に生産に携わっています。大野見の七面鳥の特徴は、大野見産のお米やニラを使った飼料、四万十川へと流れる山の水など、地域のものを使って育てられている点にあります。また、鶏舎にはヒノキを使用しているだけでなく、足元にもヒノキ屑を敷くなど、ヒノキが香る快適な鶏舎で飼育しており、七面鳥にとってストレスのないように工夫しています。

## ■七面鳥と松下さん

そんな大野見七面鳥生産組合の組合長が今回取材した松下さん。松下さんと七面鳥との出会いは高校時代にさかのぼります。高校生活をアメリカで過ごした松下さんは、日常的に七面鳥を食べていたそう。この頃からスポーツが大好きで、大学に進学後、勉強の傍ら本格的にスポーツに打ち込んでいったといいます。このとき、七面鳥がアスリートにとって優秀なタンパク源であることを知り、七面鳥に興味を抱くようになったそう。卒業後は、社会人として働きながら、趣味のスポーツを楽しんでいましたが、中土佐町で開催されたトライアスロン大会に参加したことをきっかけに中土佐町に興味を持ち、移住説明会に参加。そこで、町の職員から大野見の七面鳥のことを聞き、「移住して七面鳥をやろう!」と思ったのだそうです。こうして七面鳥をきっかけに、松下さんは地域おこし協力隊として中土佐町に移住し、大野見で七面鳥の生産に関わる

ことになりました。松下さんに言わせると「田舎暮らしよりも七面鳥」だそうで、七面鳥への熱い想いが伝わってきます。地域おこし協力隊の任期は2020年3月までですが、任期が終わった後も大野見で七面鳥と関わっていくという気持ちに変わりはありません。

## ■ #アスリートにターキーを

しまんとターキーは地域のお祭りや県内のイベントの他、大野見七面鳥生産組合HPや食品通販サイトでも購入することができます。実はネット販売が始まったのは今年の7月からなのですが、それでも東京や大阪などから問い合わせがあるなど反響は大きいそう。また、県内外で開催される料理イベントでしまんとターキーを提供するなど、今じわじわと注目されつつあります。これは松下さんが昨年より地道に行ってきた営業活動が実を結んだ結果である

ことは言うまでもありません。

松下さんが営業活動とともに力を入れているのが、アスリートにもっと七面鳥を知ってほしいということ。七面鳥はアスリートにとって有効なタンパク源。鶏むね肉と比べても七面鳥の方が低カロリー・低脂質であるとともに、高タンパク質であることがわかっています。また、七面鳥は抗疲労効果や運動パフォーマンスの向上効果が認められているイミダゾールジペプチドを多く含んでいると考えられ、これを明らかにするべく、仕事の傍ら、大学などと連携しながら研究を行っています。東京2020効果によりスポーツが一層盛り上がりを見せる中で、「#アスリートにターキーを」をテーマに、七面鳥を通じて大野見の活性化に繋がるよう、大野見から七面鳥を発信し続けます。

取材後、松下さんのご厚意でしまんとターキーを頂きました。七面鳥

は独特のクセがあると良く聞きますが、あまり感じられず、むしろ噛めば噛むほどお肉の旨味が出てきてとっても美味しかったです。今年のクリスマスはもう過ぎてしまいましたが、来年は是非しまんとターキーでクリスマスを楽しんでみてください。

## ■取材協力・写真提供

松下 昇平

(大野見七面鳥生産組合組合長)



↑静岡県のイベントで提供されたしまんとターキー

## ■大野見七面鳥生産組合

【住 所】高岡郡中土佐町大野見吉野 12 番地

【問合せ】TEL：080-6397-2355

FAX：0889-57-2027

E-mail：shimanto\_turkey@yahoo.co.jp

【H P】<https://onomiturkey.buyshop.jp/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/shimanto.turkey/>

## イベント情報

2019 新春ヤイロチョウイベント

1/2 (水) 第二回 新春八色鳥凧揚げ大会

1/4 (金) 親子植樹イベント

050-8800-2816

## ■親子植樹イベント

2019年1月4日(金)、四万十町で植樹イベントが開催されます。ヤイロチョウの森を守るべく、植樹イベントに参加してみませんか。

—— スケジュール ——

- 12:30 ~ 受付開始
- 13:00 ~ 挨拶
- 13:30 ~ 「ワンダーランドの森」へ移動
- 14:00 ~ 15:00 植樹
- 15:00 現地解散

【開催日】2019年1月4日(金)

【集 合】四万十ヤイロチョウの森  
ネイチャーセンター

【参加費】500円

【対 象】園児・小学生の親子  
(大人のみ参加も可)

【定 員】親子5組 約15名

【問合せ】公益社団法人

生態系トラスト協会

TEL/FAX：050-8800-2816

【申込期限】12月末日まで